

第 65 号

平成 24 年 1 月 15 日 発行

編集・発行

(社)新潟県サッカー協会広報委員会



NiFA NEWS

謹賀新年

立ちあがれ 日本!!

一人ひとりの未来へ

新年にあたって



（財）日本サッカー協会
会長 小倉 純 二

新潟のサッカーファンのモチベーションも高まり、ミリーの皆さん、明けましておめでとうございませう。また、なでしこジャパンの戦い振りに、サッカーの原点を見たという方

日本サッカー協会（JFA）が創立90周年を迎えた昨年、日本サッカーはサムライブルー（日本代表）のアジアカップ優勝で始まり、U-17日本代表のワールドカップベスト8、そして、なでしこジャパン（日本女子代表）のFIFA女子ワールドカップ優勝と、世界舞台で大躍進しました。また、女子はオリンピック予選をはじめ、U-19とU-16の若きなでしこたちもアジアを制覇し、今年行われる世界大会への出場権を手にするなど目覚ましい成長を遂げています。

中でも特筆すべきは、なでしこジャパンの活躍でしょう。新潟の人たちにとってはアルビレックス新潟レディーズに所属する阪口夢穂選手の活躍を誇らしく思ったと思います。ファンはもちろん、選手、指導者の皆さん

新潟のサッカーファンのモチベーションも高まり、サッカー界として継続的に復興支援に取り組みたいと考えています。

JFAは「JFA 2005年宣言」の中で、2015年までに世界でトップ10の組織になることを約束しています。それと連動し、新潟県サッカー協会も「サッカーファミリー8万人」「全国大会ベスト4」を目指して取り組んでいます。この目標を達成するために、サッカーの拠点となる新潟聖籠フットボールセンター、そして、サッカーファミリーの求心力となるアルビレックス新潟が重要な存在になると思います。

その二つを核に、新潟のスポーツが益々発展し、ここから日本サッカーの未来を担う人材が次々と輩出してくることを願っています。

今年はいよいよオリンピックピックイヤーです。金メダルを目指すなでしこジャパンの活躍も楽しみます。FIFAワールドカップアジア

最終予選もスタートします。今年もサッカーに注目が集まり、サッカー界として今年もキッズからシニアま

皆様におかれましては良いお年をお迎えになられたことと思います。今年も宜しくお願い申し上げます。

昨年、東日本大震災をはじめ全国各地、また被災地におきましても大きな被害に見舞われ、その悲しみは大きく今なお心を痛めている毎日です。一刻も早く復旧されることを願っています。

さて、今年も早いものでW杯開催10周年を迎え、ともに協会設立63年となります。協会としましては、協会60年史発刊、また関連記念事業を行うべく、特別委員会を発足し、検討を進めています。協会役員の方々は、皆様はじめ多くの方々からご支援、ご理解をいただきながら成功裡に

この好機を逃すことなく普及活動を進め、スポーツ振興に力を注がなければと考える新潟のサッカーファ



新潟のサッカーファ



（社）新潟県サッカー協会
会長 澤村 哲 郎



は良いお年をお迎えになられたことと思

皆様におかれましては良いお年をお迎えになられたことと思

2007年宣言をし早



株式会社アルビレックス新潟
代表取締役社長
田村 貢

明けましておめでとうございます。日頃より新潟県サッカー協会ならびに新潟県内サッカー関係者の皆様から、アルビレックス新潟に対して多大なるご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2011年は3月11日に発生した東日本大震災により、サッカー界にも大きな影響があった年でした。Jリーグは第2節から第6節を延期し、Jリーグを延期し、Jリーグは大会方式を変更。なでしこリーグも順延が決定し、なでしこリーグカップは開催中止を余儀なくされました。サッカー界は他競技に先がけて、いち早く被災地域への復興支援の姿勢を明確にしましたが、アルビレックス新潟も、街頭募金活動やクラブグッズなどの支援物資の提供などを早期かつ継続的に実施いたしました。

被災地の復興はいまだ道半ばです。今後も継続的な復興への啓蒙活動などに努めていく必要がありますが、ベガルタ仙台アカデミー組織の受け入れや岩手・高田高校へのユニフォームの提供など、今回の復興支援活動を

通じて、サッカーファンが見事に優勝。続くミリーの絆の強さ、温かさを再認識することができたのではないかと思います。

アルビレックス新潟は再開後のJ1リーグでは年別の代表選手の手負傷もあり、なかなかメンバーを固定し、日本中に「なでしこ旋風」を巻き起こす新潟レディース所属の阪口夢穂、上尾野辺めぐみも主力として栄冠に大きく貢献してくれました。クラブや新潟県の女子サッカーにとっても、大きな意味を持つものであったのではないかと思います。また、アルビレックス新潟レディースは、女子日本一を決定する「全日本女子サッカー選手権大会」では、史上初めて元日の国立競技場でタイトルを競う栄誉に浴しました。惜しくも優勝はなりませんでしたが、新潟の女子サッカーの着実な成長を全国に印象付けることができたのではないかと考えております。

アルビレックス新潟は2012年も、クラブのコンセプトである「ひとつくまり」「まちづくり」「豊かなスポーツ文化の創造」に基づき、地域と密着し、

地域の皆様に愛されるクラブづくりにまい進したいと考えております。新潟県をはじめとする自治体の皆様、新潟県サッカー協会ならびに新潟県内サッカー関係者の皆様、株主・スポンサーの皆様、ボランティアの皆様、そして素晴らしい声援でチームをサポートいただいたサポーターの皆様のお力をお借りしながら、新潟のサッカーのさらなる発展・普及に貢献してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

●●スマイル&チャレンジ●●

当協会にご支援いただいている法人各社

TONY テレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報
東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会

2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

★私の夢★

小針レオレオサッカー少年団 唐橋 万結

私の夢は、なでしこジャパンの選手になって、ワールドカップとオリンピックで得点王になって優勝することです。

なでしこの宮間選手は、蹴る位置の角度と距離で左右を蹴り分けています。私も、コーナーキックやフリーキックをけることがあるので、左右の足どちらでも正確に蹴れる選手になりたいと思いました。私は左ききなので、右足のキックの練習にこだわって意識して右足を使っていきたいです。

これからは、なでしこが優勝したことでサポーターの期待もますます大きくなり、世界の女子サッカーのレベルも日本のレベルもどんどん上がっていくと思います。自分自身ももっと成長できるように一回一回の練習を大切に、夢が現実になるように頑張りたいと思います。

★僕の夢★

アルビレックス新潟ジュニア 三林 知広

「いつも、どんな時でもプラスの声をかける。」これが、ぼくがみんなから信用されるために、練習や試合で心がけていることです。

ぼくはゴールキーパーです。ぼくの夢は、オリバーカーンのような選手になって、スペインリーグでプレーをすることです。

オリバーカーンは、ゴール前で気迫があって、みんなに指示を出していました。どんなシュートでも止めて、鉄の壁と呼ばれていました。ベンチにいる時も、声を出しチームをはげまし続けました。

ぼくは、負けている時、ついマイナスの声がけをしてしまうことがあります。でも、これではチームのみんなをもっと固くしてしまうだけです。バーモントカップの全国大会で戦うためにも、プラスの声をかけてみんなから信用されるようにがんばります。そして少しでもオリバーカーンに近づきたいと思います。

★僕の夢★

アルビレックス新潟ジュニア 渡邊 泰基

僕の夢は、プロサッカー選手になり、いずれは海外のトップチームで活躍する選手になることです。この夢を叶えるためにはいろいろな努力が必要だと思っています。

その一つは、生活面の事です。僕は人にあいさつするのが得意ではありません。でも、サッカーはたくさんの人と出会うため、あいさつする事は絶対必要です。だから、だれにでもあいさつのできるプロサッカー選手になりたいです。

二つ目は、勉強もできるプロサッカー選手になることです。海外に行けば外国語を覚える事が必要になります。だから勉強は得意ではないけれど、がんばりたいと思います。

三つ目は、シュートの精度と顔を上げて周りをよくみながらプレーする技術を上げていく事です。練習では、この事を意識しながら取り組んでいます。

プロサッカー選手になるのは簡単なことではありませんが、たくさん努力して夢をかなえたいです。

ぼくの・わたしの

夢

★夢★

小針FCジュニアユース 唐橋 直哉

僕の夢は、高校選手権の全国大会に出場することです。今年のU-15クラブユースでは県大会で優勝することができましたが、北信越大会では四位という悔しい結果に終わってしまい全国の本大会に出場することができませんでした。だから高校では、全国大会を目指し練習していききたいです。

この三年間、つらいこともあったけど、チーム全員で力を合わせて乗り越えてきました。また僕達には、いつも応援してくれる人達がたくさんいました。保護者やOBの先輩達、また、一年生まで一緒にプレーしていた岩手に引越した仲間。いつも僕達を支えてくれる人達がたくさんいたので、僕達は力を発揮することができたと思います。これからも、支えてくれる人達への感謝の気持ちを忘れずに夢に向かって頑張っていきたいです。

★「夢」★

新潟市立内野中学校3年サッカー部主将 若杉 俊介

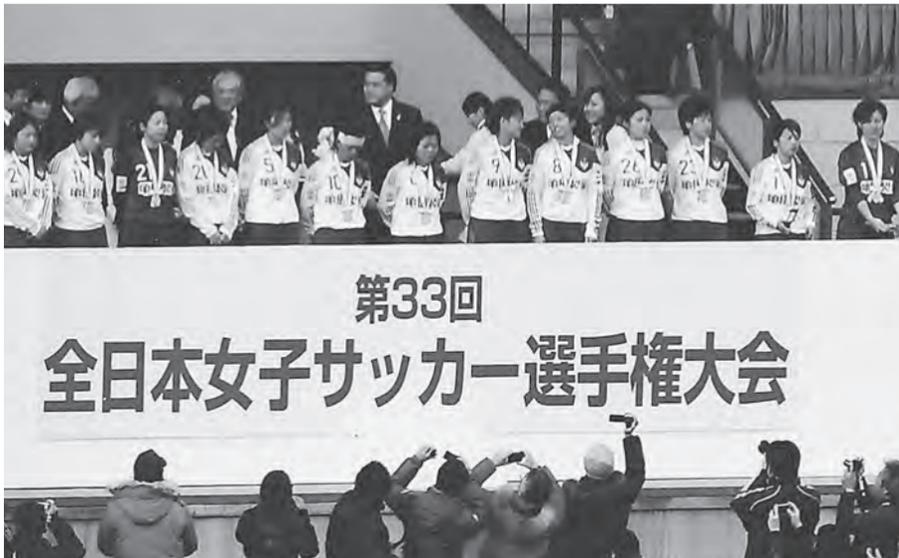
僕には「夢」が2つあります。

1つ目は、高校サッカーの全国大会に出場することです。僕は、昨年と今年、どちらも県大会を制し、北信越大会に出場しました。しかし、どちらも全国大会まであと1勝のところまで負けてしまいました。そのときの悔しい思いを絶対にしたくないので、高校サッカーでは絶対に全国大会に出場したいです。

2つ目は、プロのサッカー選手になって活躍することです。僕は小学生の頃からピックスワンでアルビレックス新潟の試合を応援していました。ピックスワンにはいつも4万人もの人が選手たちを応援しています。僕は4万人の観衆の中で、サッカーをしてみたいと強く感じたので、絶対にプロになって活躍したいです。そして、最終的には、プライドと国をかけて戦うワールドカップに出場したいです。そのため、今を大切に、努力を忘れず、大好きなサッカーをこれからも続けていききたいと考えています。

アルビレックス新潟レディース 全日本女子選手権 準優勝!!

国立 3000 人のサポーター沸く！ 2012 年 元旦



第33回
全日本女子サッカー選手権大会

全日本女子決勝リポート

日本女子サッカーが歴史的な偉業を達成し、日本中に巻き起こした「なでしこ旋風」のフィナーレとなり、同時に2012年の幕開けを告げる全日本女子サッカー選手権大会の決勝が、2012年1月1日(日)に東京・国立競技場で開催されました。決勝にはアルビレックス新潟レディースが駒を進め、なでしこリーグの覇者であるINAC神戸とタイトルを争いました。

奥山達之監督のもと、自らボールを動かしてゲームの主導権を握るサッカー“を志向して着実に成長を続けるアルビレックス新潟レディースは、2011シーズンのなでしこリーグは過去最高の5位でフィニッシュ。続いて開催されたこの全日本女子サッカー選手権大会では、3回戦で鳳凰高校を7-0と下し、続く準々決勝では浦和レッズレディースを川村のゴールで1-0の勝利。準決勝でも阪口、川村のゴールで2-1と倒して、決勝まで進出しました。浦和、日テレともなでしこリーグではこれまで一度も勝利を挙げたことがない強豪ではありましたが、複数の選手で素早いプレッシャーでボールを奪い、攻撃につながる形が機能。クラブの歴史に残る勝利を記録しながらの、決勝進出を果たしました。アルビレックス新潟レディースが元日に国立競技場でタイトルを争うのも史上初のこととなります。

女子日本一の座を争ったのは、2011年のなでしこリーグを優勝したINAC神戸レオネッサ。澤穂希、川澄奈穂美らFIFA女子ワールドカップ2011ドイツで優勝したなでしこジャパンの主力選手を多く擁するだけに、圧倒的な不利が予想された新潟レディースですが、試合が始まると準決勝までの戦いを女王相手にも臆することなく披露していきます。

中盤でダブルボランチを組む阪口夢穂選手(なでしこジャパン)、川村優理選手がことごとく相手の攻撃の起点をつぶして回り、攻撃の菅澤、上尾野辺にボールを供給する戦いで新潟はINACゴールに迫ろうとします。INACは川澄が抜け出すなど、時折り新潟ゴール前で決定的な場面を作りますが、この試合で引退が決まっている右サイドバックの口木やゴールキーパー

の友がよくこれをブロック。新潟のゲームプランである、「前半は相手の守備をシャットアウトして後半勝負」を遂行しようとして

しかし、新潟の上尾野辺が開いてDFと交錯して右まぶたを負傷。ピッチ外での治療を終えてピッチに戻ったわずかな隙を、INACは逃しません。セットプレーからゴール前での混戦を南山に押し込まれ、新潟は痛恨の失点を喫してしま

います。「守備に関しては問題ない。奪った後のボールの精度を追求しよう」という奥山監督の檄に送り出された新潟の選手たちは、後半盛り返そうとINACへの攻撃の姿勢を強めますが、逆にカウンターから2点を奪われ、0-3の敗戦。残念ながらタイトルを獲得することはなりません。

最後まで勝負をあきらめずINACゴールに迫り続けた新潟の選手たちには、試合終了後に国立競技場を埋めた満場の観衆から温かい拍手。また、晴れの舞台を支えようと新潟からは約2500人のサポーターが集結。選手とともに最後まで戦い続けました。



祝 アジア勢初の快挙

2012年1月10日、国際サッカー連盟は2011年の最優秀女子選手に澤穂希選手、最優秀女子監督に佐々木則夫監督、フェアプレー賞に日本サッカー協会を選出した。

日本サッカー史に輝かしい1ページを残した。



新春講演会・新年会開催される

恒例の新年会に先立ち新春講演会も開催され、参加人数も170名にのぼり盛会でした。

日時 平成24年1月15日(日)
13時15分～18時30分

場所 新潟グラウンドホテル

内容
1. 講演 「日本サッカー協会殿堂入りと思い出」
牛木 素吉郎氏

1. トークショー 「ドイツW杯優勝と期待される ロンドンオリンピック」
国際サッカー連盟最優秀監督 なでしこジャパン 佐々木 則夫監督
阪口 夢穂選手
上尾野辺めぐみ選手

1. 講演 「JFA2005年宣言の推進」
(財)日本サッカー協会 副会長・専務 田嶋 幸三氏

1. 報告 「報告と来季の抱負」
アルビレックス新潟 監督 黒崎 久志氏

1. 新年会



アルビレックス新潟
監督 黒崎久志

明けましておめでとうございます。新潟県サッカー協会ならびに新潟県内のサッカー関係者の皆様におかれましては、旧年中は多大なるご支援・ご声援を賜り、厚く御礼申し上げます。

アルビレックス新潟の指揮を執らせていただいた2年目となる2011年は、クラブスローガンである「SMILE」とともに、「チームスローガンとして「AGGRESSIVE」

はその後3連勝を飾りながらも、再び未勝利の時期が続くなど、シーズンを通して波のある、安定しない戦いをしていた反省があります。

ただ、苦しいシーズ

に発生した東日本大震災により、Jリーグが中断するなど日程が変更となると、いったん解散したチームはなかなかコンディションを高め、チームとして追及し、チームとして高みを目指そうと春のキャンプから取り組んできました。開幕戦で代表やケガ人が続いたこと、なかなかベテラン選手の成長やベテラン選手の奮起もあり、来シーズンの向かうための



アルビレックス新潟レディース
監督 奥山達之

明けましておめでとうございます。旧年中は、アルビレックス新潟レディースに多大なるご支援・ご声援をいただきました。本年もよろしくお願い申し上げます。

2011年はとても印象深い1年でありました。FIFA女子ワールドカップに置いて優勝した際には、多くの方々から激励の言葉や励ましをいただ

きました。優勝メンバーに新潟の選手がいることはとても喜ばしいことでもありますが、他の選手や現在サッカーをしている女の子たちにも、大きな励みになったと思っております。アルビレックス新潟レディースとして、リーグ戦においては、5位という結果に終わりました。リーグ序盤は2位という好位置に

3位にも届くところになりましたが、後半戦ではなかなか勝ちきれない状況に終わりました。個々の能力もチーム力も上がってきている部分もあるため、もっと勝ち点を重ねることができたと思っております。

決勝戦では、INAC神戸レオネッサに0-3で敗退しましたが、通用する部分、足りない部分、課題も得ることができました。

★女子委員会だより★

【女子審判委員の活動】

審判担当 松浦波瑠夏

現在、積極的に審判活動を行っている女性審判員は、県内に3名おります。北信越全体では8名、とまだまだ女性審判員の数は少ないです。

【新潟地区の活動】

新潟地区担当 瀧澤 勝浩

サッカー登録種別には、1種・2種・3種・4種・女子と分かれておりますが、その中の「女子」には九つの区分「Jリーグ、一般、レディーズ、大学、高校、クラブ（高校生、中学生、少女）」があり、女子サッカー界が盛り上がるのは大変喜ばしいことですが、日本代表として活躍したのは「なでしこJAPAN」だけです。

この冬は、個人のレベルを上げるために、1人1人が個人目標を立て、その個人目標を達成することをチームの目標としました。走りや筋トレも練習に組み込み、春一番の試合を意識しながら、練習に励んでいます。

毎年のように行われる北信越インカレ予選では、苦しい戦いが続いています。しかし、今年は練習時間を増やし、中身を濃いものにして、インカレ予選では良い試合ができるようにチーム一丸となって頑張りたいと思います。

その中でも、最近力の舞台に立てるのは、立競技場まで足を運ぶことができて、安定した守備と勝負をきめる得点を奪うことをピッチ上で表現することにより、選手たちもこれまでになく自信をつけることができました。

2012年は更なる向上心を持ち、未だ成し遂げていないタイトル獲得にむけて邁進したいと思います。

今後とも、アルビレックス新潟レディースをよろしくお願いたします。

大阪体育大学		Japanサッカーカレッジ	
GK 1 杉本 葵	DF 2 田中 由女	GK 1 深田 彩美	DF 2 品川 綾香
DF 3 倉本 あやみ	DF 4 加藤 みづほ	DF 5 薄 理香	DF 6 林本 早紀
DF 5 酒井 望	DF 12 松岡 沙由理	DF 9 佐々木 さくら	DF 10 高橋 友紀
DF 14 鶴岡 沙紀	MF 6 岡本 莉奈	DF 19 高橋 友紀	DF 20 坂口 南未
FW 13 清水 美里	FW 9 泊 志穂	FW 7 近藤 社	FW 16 社 納
FW 10 本田 紗希		FW 11 齋藤 麗	

EXT 1-0
TOTAL 2-1



【全国大会に出場して】

JAPANサッカーカレッジレディース 林本 早紀

なでしこリーグの2部に相当するチャレン

12月4日に兵庫県で行われた全日本女子サッカー選手権一回戦では押し込まれる時間帯が続き、延長戦まで持ち込みましたが、1-2で敗れました。全国大会に出場して、この素晴らしをしたいと思います。

これからの、新潟大学女子サッカー部をよろしくお願いたします！

厳しい練習を乗り越えた自信を持ち、最後のホイッスルが鳴るまで戦い続けることができました。ため、チャレンジリーグ自動昇格を決めることができました。

各地区協会との懇談会開催される

平成23年度の各地区との懇談内が11月25日(金) 下越地区を皮切りに開催されました。

各地区との懇談会の開催目的は、各地区が積極的に事業活動を展開し、日常の事業を通して課題・対応策を双方で協議しより地域での活動を発展させることが地域・県レベルの技術向上、サッカーファミリーの増加等に大きな貢献ができると考えています。二月に入り上越・中越・新潟地区との懇談会を開催し、新年度へ向けて事業計画と実施具体策を協議します。

下越地区での協議内容を抜粋し報告いたします。

・参集者
下越地区：会長、副会長、理事長、種別委員長、事務局長他
県協会：会長、専務、事務局長

1. 県協会の現状

- (1)協会60年史発刊とW杯10周年事業の取組
- (2)JFA交付金減額に伴う事業費の見直し
- (3)楽しむサッカーの推進とスポーツ文化の構築
- (4)事務局体制の強化

2. 県協会の課題

- (1)楽しむサッカーの推進とスポーツ文化の構築
- (2)地区協会の充実と連携強化(地区協会の発展なくして県協会の発展はない。規約に添った組織体制の推進)
- (3)キッズ・ジュニア・女子・シニア・ママさん・レディースの普及活動とチーム作り
- (4)元気な中高年、元気なママさん、健全な子供
- (5)広報活動の充実
- (6)日本代表戦と国際試合の開催促進
- (7)全日本規模大会の誘致と招聘

3. 地区協会の現状と課題

- (1)1種：社会人チームと登録数の減少が続いている。
- ・イベントの創設、草サッカーチームへの登録呼びかけ、大会
- (2)2種：地区レベルでの技術講習会、練習会等が少なかつた。
- (3)3種：U-15は特に問題はなかつたが、プレリーグ地区予選では討議不足があつた。
- (4)4種：各種大会で下越地区から優勝チームが出ていない。ポカリリーグの運営が全チームに徹底していない。
- (5)女子：普及・強化が活動チーム単位でしかできなかつた。各種別との情報交換が少なかつた。計画的に活動がでなかつた。
- (6)組織の充実と事業の拡大に努めたい。
- (7)収入予算増の検討を行なう。

参加募集にあたり効果的なアナウンス方法を模索している。

懇談会での意見・要望(抜粋)

- (1)下越地区サッカー協会は、フットボールデーなど積極的に展開している。
- (2)新潟市、聖籠町では、素晴らしいサッカー環境があるので、全国規模の大会の誘致を行政に働きかける。
- (3)審判講習会(フットサル含む)を下越で実施したい。回数・時期も参加できる時期に設定して欲しい。
- (4)3種は芝での試合がでない。施設充実はできないか?
- (5)フットボールデーの予算を上げて欲しい。またグッズの提供もあればお願いしたい。
- (6)組織の充実と事業の拡大に努めたい。
- (7)収入予算増の検討を行なう。

要望事項については、各委員会、県協会で検討してできるだけ改善していきたい。

各地区・種別の皆様も参考にし、現状・課題を共有してくだ

地区協会の抱負

サッカー環境の充実

下越地区サッカー協会理事長 国枝 晴隆

平成17年度に下越強化に対してのご尽力北サッカー協会から心から感謝申し上げます。下越サッカー協会と 近年は、キッズから変更して、4年目を シニア、フットサルまで迎えました。組織も様々な年代での活動の内容及事務所の体制も徐々に充実してきております。皆様 各委員会では活発な活動のサッカーの普及・ 動が行われています。

2012年を向えるにあたって

新潟地区サッカー協会理事長 五十嵐 治

新潟県のサッカー なつてきていると思いまレベルも、アルビレックス新潟のJ1プロチームから、JFLに残留しながら、チャレンジャーズに力を入れてきた。強化練習会場・ナイターの使用等の年間を通しての確保をしていただいております。

1部・2部共に新潟県サッカー協会のジュニアトレーニングセンターの下部組織として役割として、大会に経営大学が出席し、ジュニア強化に一段と力を入れ、大学リーグ、高校リーグ、各県リーグ等々、各サッカーレベル向上に各別・各カテゴリーに新潟県チームが多数所属し、上位リーグ・全国大会上位を目指し頑張り、各種大会に好成績を収め、その中から、亜土夢君、

昨年と今年のフットボールデーでは、親子ふれあいサッカーが、親子を含め200名近くの動員があり、次世代につながる多くの子ども達とふれあうことができている。これまでも、選手・審判・指導者という登録者だけでなく、愛好者や多くのサポーターを含めたサッカーファミリーへ、大きく変わり、事業が活発化し、1種・2種・3種・4種・シニアの3種・4種・シニアの制も徐々に充実してきております。皆様 各委員会では活発な活動のサッカーの普及・ 動が行われています。

今年の抱負

中越地区サッカー協会理事長 柏木 義雄

嬉しい報告です。昨年12月3日に行われた第17回全日本ユース(U-15)フットサル北信越大会において長岡ビルボードフットボールクラブジュニアユースが準優勝・長岡JYFCが第3位となり1月14・15日岐阜で行われる全国大会に北信越代表として2チームが出場することになりました。皆様ご存じのとおりJYFCはこの大会で優勝・準優勝とすばらしい活躍をしてお

新年の抱負

上越地区サッカー協会理事長 室橋 丈司

皆様、新年あけましておめでとうございませう。本年もよろしくお祈りいたします。さて、今年は何のような年になるのでしょうか?不安と希望を持ちながらも前向きに頑張っていければと思います。

今年四月に待望の人工芝サッカー場が柿崎区に完成します。上越地区では、三番目の人工芝サッカー場の誕生で地元でも盛り上がりつつあります。新潟県内各

の交流をしたいと考えております。ようやく施設も各地に出来てきており、今年度は個々のメンバー・チームのレベルアップは勿論、指導者や審判の育成にも積極的に取り組んでいかなければなりません。又、サッカーが男子も女子も幼児から60・70才の方からも楽しんでいただく生涯スポーツとして普及して行かなければならないと思っております。それが出来るのが地域の力ではないでしょうか。

新年の抱負

上越地区サッカー協会理事長 室橋 丈司

皆様、新年あけましておめでとうございませう。本年もよろしくお祈りいたします。さて、今年は何のような年になるのでしょうか?不安と希望を持ちながらも前向きに頑張っていければと思います。

今年四月に待望の人工芝サッカー場が柿崎区に完成します。上越地区では、三番目の人工芝サッカー場の誕生で地元でも盛り上がりつつあります。新潟県内各

新年の抱負

上越地区サッカー協会理事長 室橋 丈司

皆様、新年あけましておめでとうございませう。本年もよろしくお祈りいたします。さて、今年は何のような年になるのでしょうか?不安と希望を持ちながらも前向きに頑張っていければと思います。

今年四月に待望の人工芝サッカー場が柿崎区に完成します。上越地区では、三番目の人工芝サッカー場の誕生で地元でも盛り上がりつつあります。新潟県内各

の交流をしたいと考えております。ようやく施設も各地に出来てきており、今年度は個々のメンバー・チームのレベルアップは勿論、指導者や審判の育成にも積極的に取り組んでいかなければなりません。又、サッカーが男子も女子も幼児から60・70才の方からも楽しんでいただく生涯スポーツとして普及して行かなければならないと思っております。それが出来るのが地域の力ではないでしょうか。

終わりになりますが、昨年は、未曾有の大震災のために東日本で大きな被害があり、皆さんも心を痛めたことと思います。あらためて震災に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。ともに、本年は素晴らしい年になることを心から祈念いたしまして新年の抱負とさせていただきます。



